

## 令和元年度 第8回 教育委員会議事録

### 1 開催日及び場所

令和2年2月25日（火） 午後3時から午後5時

山県市役所3階 301会議室

### 2 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 教育長の報告

日程第4 議事

議第19号 校務員の服務心得を廃止する訓令及び調理員の服務心得を廃止する訓令について

議第20号 県費負担教職員の任命の内申について

議第21号 令和元年度山県市一般会計補正予算（教育予算）について

日程第5 その他

### 3 出席者

教育長 服部 和也

教育長職務代理者 大野 良輔

委員 水谷 早苗

委員 千葉 純

委員 川田 八重子

事務局 学校教育課長 鬼頭 立城

生涯学習課長 土井 義弘

中央公民館長 山田 智丈

学校教育課 恩田 拓充 衣笠 みつ美

### 4 会議次第

（午後3時 開会）

教育長 ただ今より、令和元年度第8回教育委員会を開催いたします。日程第1、前回議事録の承認について。事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） それでは、資料1をご覧ください。前回議事録の案となりますが、委員の皆様には、前もって送付させていただいておりますので、要点のみ説明させていただきます。令和元年度、第7回教育委員会を令和2年1月31

日、金曜日、午前10時から正午まで、山県市役所、3階、302会議室において開催いたしました。出席者は、教育長、委員4名、及び事務局6名でした。会議の議事としまして、議案6件を議決いたしました。その後、事務局よりの諸般の報告と教育長の報告を行いました。以上でございます。

教育長 　ただ今の事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。ご意見等も無いようですので、前回議事録を承認することよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 　異議なしと認めまして、前回議事録を承認いたします。続きまして、日程第2、議事録署名者の指名について、今回は、大野委員を指名します。

大野委員 　はい。

教育長 　続きまして、日程第3、教育長の報告についてですが、日程第4の議事の後に、事務局からの諸般の報告とあわせて行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。続きまして、日程第4、議事に入ります。議第19号、校務員の服務心得を廃止する訓令及び調理員の服務心得を廃止する訓令についてを議題とします。事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 　それでは、資料2をご覧ください。議第19号、校務員の服務心得を廃止する訓令及び調理員の服務心得を廃止する訓令について。校務員の服務心得を廃止する訓令及び調理員の服務心得を廃止する訓令について、別紙のとおり定めるものとする。令和2年2月25日提出。山県市教育委員会、教育長、服部和也。次のページに廃止理由がありますが、本年4月よりの会計年度任用職員制度への移行に伴い各種規程の整理を行う中で、この2つの訓令につきましては、職員が当然行うべき業務のことが規定されており、規程として定めるほどのものではないと判断し、訓令の廃止を行うものです。以上でございます。

教育長 　ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

大野委員 　訓令は廃止しても業務はある訳ですから、職員の方が何をすればよいか分かるような、業務内容を記した別の何かがあるのでしょうか。

事務局（恩田） 　前回、会計年度任用職員制度への移行に伴い、非常勤等の各種職員の設置要綱等の廃止を決定していただきましたが、今回の校務員及び調理員を含め、4月以降に会計年度任用職員となる各職員の業務内容については、各職員の人事管理を担当する事務局職員の事務手順書のようなものを整備しておきたいと考えています。

教育長           ほかにご意見などございませんか。では、ご意見がないようですので、お諮りいたします。議第19号、校務員の服務心得を廃止する訓令及び調理員の服務心得を廃止する訓令について、原案のとおり議決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長           異議なしと認めまして、校務員の服務心得を廃止する訓令及び調理員の服務心得を廃止する訓令について、原案のとおり議決いたします。続きまして、議第20号、県費負担教職員の任命の内申について及び議第21号、令和元年度山県市一般会計補正予算（教育予算）についてを議題とします。この2議案は、人事案件であるためと予算案件で市議会開会前であるために秘密会として審議したいと存じますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長           異議なしと認めまして、2議案については秘密会での審議といたします。議場を閉鎖してください。

（議場の閉鎖）

（非公開案件） 議第20号、県費負担教職員の任命の内申について、議第21号、令和元年度山県市一般会計補正予算（教育予算）について、原案のとおり議決。

（議場の閉鎖 解除）

教育長           続きまして、日程第3、教育長の報告についてですが、事務局からの諸般の報告と併せて行います。まず、このところのコロナウイルス感染症関連について、中央公民館長からお願いします。

中央公民館長    公民館行事につきましては、3月に予定しておりました各中央、地区公民館の学習発表会、文化祭等を中止いたしました。また、岐阜地区の子ども会育成大会は、今年度山県市が開催の当番市で3月に開催予定でしたが、これも中止となりました。

学校教育課長    学校教育関係では、2月の教職員研修を中止いたしまして、同時に開催予定でした表彰式も中止となりました。PTA総会や授業参観等については、各学校の判断で中止や延期をすることとしております。アルコール消毒については、各学校に今まで以上に設置しています。マスクの着用など咳エチケットの指導もしています。また、教職員の健康観察も行い、体調

が悪ければすぐ休ませるようにとの通知も出しました。今後、卒業式、入試などもありますが、状況を見ながら対応していきたいと思います。

生涯学習課長 公民館以外の生涯学習関係ですが、まず、ねんりんピック関連のソフトバレーボール大会が2月に予定されておりましたが、とりあえず延期ということになりました。ねんりんピックの本番大会が10月にありますが、それまでには開催したいとして調整しております。3月のジョギング大会は中止の方向です。4月のウォーキングイベントにつきましては、今後の動向をふまえながら検討していきます。

千葉委員 市全体として、イベントや行事は中止か延期の方向ですか。

生涯学習課長 今後のことがわからないので、基本的には高齢者などが参加されるようなものは、中止の方向だと思います。

教育長 今のところの市の方針としましては、狭い空間で人が集まるようなことは自粛する。高齢者の方などが集まるようなことは自粛するという2点となっていますが、刻々と状況が変わっていく状態にあります。それでは、そのほかに何かご質問はございますか。

大野委員 別のことですが、伊自良中央公民館が移転するという話を聞いたのですが、どのようなことでしょうか。

中央公民館長 伊自良中央公民館は建ってから50年近くになりまして、いろいろと傷んでいるところがありますが、改修するとなると相当な金額がかかることとなります。そのため近くの文化ゾーンの中にあります建物に機能を移転するという方向で検討を進めています。候補として福祉センターの利用も検討していますが、建物の構造や管理する所管課が違うという問題もありますので、どのようにしていくか議論しているところです。

教育長 それでは私の方からですが、学校の統廃合について、委員皆さんのお考えを一度お聞きしておきたいので、ご意見などがありましたらお願いしたいと思います。

大野委員 伊自良地区については、今は伊自良南小学校の子供が何十人、伊自良北小学校の子供が5、6人で、それが中学校で一つになります。伊自良北小学校の子は、5、6人であったのが、いきなり何十人の中に放り込まれることになるわけで、最初のうちはすごいストレスがあると思います。スポーツ少年団などは北と南で合同でやっているというのもありますし、小学校が一つとなっても、あまり違和感は無いように思います。

水谷委員 美山地区は、統合する時期がいつなのかという関心はあるように感じます。

千葉委員 大桑小学校が統合ということになれば、昔なら桜尾小学校と統合ということであったと思いますが、今はその2校が統合しても、1クラス10人が、15人くらいになるだけということですから、もし統合するなら、富岡小学校も含めて考えることになるように思います。小さな学校にも良さはあって、極端に少ない人数の場合とは、また違いますが、1クラスが十数人くらいだと先生が目も行き届いて、子供の学ぶ環境としては非常によいように思います。1クラスが30人以上の所だと、いじめなどが見過ごされてしまうようなことがあるかもしれません。ただ、保護者の方の大半は、大きな学校に通わせたいと思っています。また、統合の問題は、学校の維持管理経費のことも問題になってくるのではないですか。

川田委員 学校の維持管理経費は、学校が減ればそれだけ減るかもしれませんが、逆にスクールバスの運行経費が増えるので、結局それほど変わらないのではないのでしょうか。

大野委員 いま子供が学校に通っている親と子供が卒業してしまった親では、学校の問題に対する意識がかなり違います。子供が卒業すると統合の事に関しても無関心になる親もいます。大人のルールで決めるのではなく、一番は子供たちがどう思っているかが大切ではないのでしょうか。

水谷委員 私は困り感のある子供たちと40年以上関わっていますが、そのような子供たちは、勉強とは別の特別な才能を咲かすこともあります。大きな話ですが、これからの学校の教育というものは、どのような方向に行くのかということを考えます。これからは多様性の時代と言われています。先生は命の大切さを一生懸命教えていると思いますが、伝わっていない子供たちがいます。大きな学校だから、いじめがある。小さな学校だから、ないというものでもありません。親が忙しい、先生も忙しいから、子供たちが誰にも相談できなくなっています。

川田委員 確かに1クラスが40人というのは多すぎるとは思います、反対に4人や5人というのは少なすぎるとは思います。20人から30人ぐらいが、一番いいのではないかと考えています。ですから、そのくらいの人数となるような統合ができればいいのかなと思います。せめて複式学級がなくなるような、統合であればいいと思います。

大野委員 中学校から高校へ入ったときに、伊自良の子は純朴ですので、非常に周りに影響されやすいところがあります。でも高富の子は、ある意味鍛えられているので、意外とそんなことがないと思います。そう考えると、小さ

な学校で大事に育てられることが、全てプラスだとは言えないかもしれないと思ったりもします。

教育長           いろいろとご意見いただき、ありがとうございます。現時点では、教育委員会としては統合に関しまして、まず子供や保護者、地域の方々のご意見を集める。適正規模検討委員会を設けて、外部の方にも入っていただき、山州市の学校の方向性について検討をいただく。まずは小さな学校の魅力、可能性というものを追求していくという立ち位置で進めたいと思います。

大野委員           特に大事にしていきたいのは、子供や保護者の意見ですので、地域意見に押さえ込まれてしまうことがないようにしていきたい。

教育長           はい。ご意見はいつでも、電話などでも結構ですので、お聞かせいただけるとありがたいです。それでは、そのほか何かございますか。なければ、その他について、事務局から何かございますか。

事務局（恩田）   次回会議は、3月6日の11時30分からと通知させていただいていますが、その次の会議を午前中に小学校の卒業式があります、3月25日の午後で開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

教育長           その他として、ほかに何かございますか。では、何も無いようですので、以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたします。これもちまして、令和元年度第8回教育委員会を閉会いたします。

（午後5時      閉会）

上記議事録は正当であることを認め署名します。

山州市教育委員会      教育長      服部 和也

委 員      大野 良輔